

# 参考1

## 第3回林政審議会施策部会における意見の反映結果

章	ページ	意見	反映結果
全般		CABEEやJ-VERなどにも、読み仮名を入れるべき。	一般になじみのないSGEC(トピックスー6、IVー121、Vー137)、JAPIC(IIー57、IVー95)、J-VER(IIIー74)、CASBEE(IIIー78)、ASEAN(VIー166)、RCEP(VIー166)、JAS(VIー184)にふりがなをふった。
全般		グラフの横軸に、西暦表記のものと、和暦・西暦併記のものが混在しているので、統一すべき。	国内のデータに基づくものは和暦・西暦併記、海外のデータに基づくものは西暦表記に統一した(資料VIー10(169頁)を修正)。(本文では、海外の動向は西暦表記、国内の動向は和暦・西暦併記に統一している。)
トピックス	2	トピックス1の図の文字が小さい。	図を作成し直した。
トピックス	3	海岸防災林の将来イメージは、堤防のかさ上げとの関係の中で決まってくるものと思うが、このような図で良いのか。	海岸防災林の植樹式の写真に差し替えた。
トピックスII	3 49-50	完全に無害な廃棄物はないことから、「無害化」の表現を見直すべき。	トピックスでは、「津波堆積物等に由来する再生資材」と簡潔に表現することとした。第II章の初出箇所(49頁)では、「今後における海岸防災林の再生について」の記述を踏まえて、「「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」や東日本大震災に係る災害廃棄物の処理方針(マスタープラン)などの既存の法制度・指針等に基づいて適切に処理等が行われた津波堆積物等に由来する再生資材」と記述した。以後の第II章(49-50頁)では、「津波堆積物等に由来する再生資材」とした。
トピックス	4	トピックス3の図の文字が小さい。	図を作成し直した。
I	44	今後の課題に、海外の情報把握など、国際的な観点を加えるべき。	「海外の動向も視野に入れて」と加筆した。
III	77	資料IIIー8に、木造住宅の炭素貯蔵量も加えるべき。	資料IIIー8に、木造住宅の炭素貯蔵量の図を加えた。あわせて、本文に、「例えば、木造住宅は、鉄骨プレハブ住宅や鉄筋コンクリート住宅の約4倍の炭素を貯蔵していることが知られている」旨加筆した。
III	77	資料IIIー9の見栄えが悪い。	資料IIIー9を作成し直した。
III	83	資料IIIー14は、高齢級の林分の吸収量が非常に悪いとの誤解を与えかねない。	資料IIIー14を、光合成による吸収量と呼吸による排出量の差を示す図に差し替えた。
IV	86	資料IVー1は、図と注のバランスが悪い。	資料IVー1の図を大きくした。
IV	89	昨年の白書に掲載されていた50年後、100年後の年齢構成の図を入れるべき。	資料IVー9として、将来における年齢構成のイメージ図を加えた。

章	ページ	意見	反映結果
VI	167	資料VI-7の凡例の表示がおかしくなっている。	凡例の表示を修正した。
VI	167	九州の生産量やスギ・カラマツの生産量が増加した理由を記述すべき。	九州の増加については、資源量の増加と大型加工施設の整備等によること、スギとカラマツの増加については、合板や集成材への利用が広がっていることによると考えられる旨加筆した。
VI	168	資料VI-8は、第10位の都道府県まで入れて欲しい。	第10位の都道府県まで入れた。
VI	179	きのこ類は林業生産の中で大きな位置を占めていることから、図を入れるなどして、記述を充実させるべき。	特用林産物全体の生産額と生産量に関する表(資料VI-20)を加えた。また、生しいたけの国内生産量と輸入量の推移に関する図(資料VI-21)を加えた。